

受賞者：舞岡ふるさと村推進協議会（神奈川県横浜市戸塚区舞岡町）

受賞年
平成13年

日本農林
漁業振興
会会長賞

むらづくりの経緯

舞岡地区は大都市横浜市の南西部に位置し、JR戸塚駅から地下鉄でわずか一駅の所にある都市的地域である。地区の総面積は103ha(103ha)、総世帯数427戸(314戸)であり、経営耕地面積は27ha(25ha)、農家戸数41戸(33戸)、1戸当たり平均耕地面積0.65ha(0.76ha)、農業就業人口77人(98人)である。急激な都市化により、農業者の結束力不足や廃業等から農業の存続が著しく困難となる中、昭和54年に農地を保全するため横浜市独自の制度である「農業専用地区」の指定を受け、平成2年には市民と直結した農のある地域づくりを進めるため横浜市のふるさと村の指定を受け、「舞岡ふるさと村推進協議会：組合員56名(58名)」を設立した。各種の農業形態や作物別に組合等を組織し、農業後継者や婦人グループ等の全組織の協力体制の下、非農家も参加した自主的な活動を精力的に展開。 ※()は、令和2年現在の数値

受賞当時

生産活動の特色

- 昭和63年から地場産農畜産物の直売に取り組み、消費者ニーズに見合う少量多品目生産を確立
- 地元横浜南農協と連携し、経営規模の大小や出荷量の多少を問わず、どんな品目でもまとめて集荷し販売する新たな地場野菜の集出荷方法(一括販売方式)を実施
- 畜産農家によって運営されるハム工房施設「ハム工房まいおか」(平成7年設置)では、生ハム等各種の加工品や地場産にこだわった贈答品等を販売し、年間、野菜直売所「舞岡や」には約5万人、ハム工房まいおかには約4万人が訪れている。
- また、年間販売額(平成12年)は野菜(直売所)で52,000千円、ハム類(ハム工房)で71,280千円となっている。

地域づくりの特色

- 市民交流の場である総合案内施設「虹の家」(平成9年設置。農業構造改善事業で導入)の運営 に関わり、イラストマップの作成、子供を中心にした自然観察会や手作りウイナー教室等各種体験教室を開催している。(虹の家の来館者：約2万7千人(平成12年))
- 「都市農業の維持・向上のためには、農への市民の理解が不可欠である」という農業者自らの認識から、新鮮で安全な地場産農畜産物の提供や農と緑を通じた地域アメニティーの提供等を実施
- 農あるまちづくりを推進するため、竹の子掘りや体験温室でのトマト狩り等、年間を通じた四季折々のイベントを子供や市民を対象に開催
- 年間約20万人の市民が舞岡ふるさと村を訪れており、農的景観が良好に維持されていること等について高く評価

～受賞直後の効果～
○知名度が上がった。
○農業者の結束力が強まった。
○視察を数多く受け入れ、事業をPRできた。
○総合案内所「虹の家」来館者数が増えた。
＜視察件数＞
平成13年度以前は記録なし
平成14年度：36件
平成15年度：32件
＜来館者数＞
平成12年度：2万7千人
平成13年度：3万3千人
平成14年度：3万6千人
平成15年度：3万8千人

～直近の状況～
＜直近来館者数＞
平成29年度：3万5千人
平成30年度：3万6千人
令和元年度：3万1千人
令和2年度：1万8千人
＜直近農体験件数＞
平成29年度：19件
平成30年度：19件
令和元年度：20件
令和2年度：13件

現在(令和4年)

評価ポイントの取組状況

(金額・人数は令和2年度の数値)

- 集出荷施設では一括販売方式を取り入れた集出荷を継続し、平成25年からは集出荷作業後の空き時間にJA横浜ハマツ子直売所「舞岡や」とし、地場産野菜、花苗、果物、漬物、米等をほぼ毎日直売し、販売額は3,922万円。
- 「ハム工房まいおか」では、ハム、ソーセージ等加工品、贈答品、精肉、自家製肉・野菜を用いた総菜、弁当等の製造・販売を継続しており、販売額は4,366万円。
- 平成29年に開館20周年を迎えた総合案内所「虹の家」では、舞岡ふるさと村の自然・農業・イベント等情報の発信・展示を行い、地場産農産物を使用した料理教室や漬物教室等、各種講座を開催し、来館者は1万8千人。
- 地元農家組織主催の収穫体験等イベント、共同直売所や個々の農家の庭先直売、集団的な農景観維持管理の取り組み等により地域を活性化し、都市農業の振興、地産地消、市民の農業への理解を促進。特に収穫体験などは受賞当時の10件から、近年は20件程まで増加。
- 周辺緑地を含めた一体的な緑農空間を確保するため、引き続き、土地改良事業や市の施策等の活用により良好な農景観を保全。
- * 令和2年度、3年度は新型コロナウイルスの影響により「舞岡や」「ハム工房まいおか」「虹の家」とも臨時休館・閉店等の期間があり、収穫体験・まつり等イベントの開催見合わせが多数あった。

今後の展開

- 農家の高齢化、後継者人数の減少等の課題があることから、今後は
- 地元舞岡産農畜産物をPRし、地産地消を通して市民交流を図る。
- 収穫体験や農業教室を開催し、市民が身近に農を感じる場を提供していく。